

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスエンジェル		
○保護者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年2月15日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自然体験・お出かけ活動が充実しています	公園遊びやハイキングなど、外でのびのびと体を動かす機会を大切にしています。 ●感覚統合やコミュニケーション力の向上にもつなが	●季節ごとのイベントや社会見学を通じて、生きた学びの場を提供できるように今後も工夫をおこなっていききたい。
2	専門講師による英語・ダンス・リトミックレッスンを週5回行っています	各分野のプロがレッスンを担当しています <input checked="" type="checkbox"/> 英語…遊びや歌を通じて、自然に英語に親しむ <input checked="" type="checkbox"/> ダンス…リズム感を養いながら、楽しく体を動かす <input checked="" type="checkbox"/> リトミック…音楽に合わせた活動で、感覚統合や表現力を伸ばす	「楽しく学ぶ」ことで、お子さまの意欲を引き出すことができるように運動レッスンをとりいれていきたい
3	お子さまのニーズに沿ったサービスを提供しています	ことばの遅れ・距離感が近いお子さまの療育にも対応 宿題支援、学習サポートで、家庭の負担を軽減 ●安心して過ごせる環境づくりを重視(落ち着いて過ごせるスペースあり)	●将来を見据えた生活スキル・ソーシャルスキルトレーニング(SST)も充実させていきたい

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援や家族が参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない	保護者会年1回開催していましたが昨年は開催できなかった	保護者会の開催、情報提供の機会、発達障がいについての勉強会などを保護者に向けて発信していきます
2	父母の会、保護者会の開催が昨年は行えなかった	保護者の方のお悩み、相談を個別でも開催していく必要がある	全体保護者年1回、個別保護者会を3か月に1回程度開催していきます
3	こどもや家族からの相談や申し入れについての整備が不十分	保護者様からの相談については都度、対応しておりますがこちらから相談についての有無をお聞きする機会が少なかった	当施設から都度、声掛けを行って相談をお聞きする機会を設けていきます